



もっと、もっと知ってほしい

# 児童 養護施設 のお仕事

子どもたちに寄り添い、  
感動ある仕事を  
してみませんか？



## Introduction

# 児童養護施設とは

### 全ての子どもを社会全体で育む

社会には様々な理由により、  
保護者がいなかったり、  
保護者の適切な養育を受けられない子どもたちがいます。  
児童養護施設は、そうした子どもたちを養護し、  
あわせて退所に向けた相談支援や  
自立のための援助を行う施設です。  
子どもたちを公的責任のもと保護・養育するとともに、  
その家庭を支援する仕組みを「社会的養護」といいますが、  
児童養護施設は、  
この「社会的養護」の仕組みの中に位置付けられています。

### 職場であるとともに家庭である

子どもたちにとって、児童養護施設は日々生活する「家」であり、  
ともに過ごす職員は家族のような存在でもあります。  
職員にも、児童養護施設は職場であると同時に「家」であり、  
職員は職業人であると同時に、  
子どもに寄り添う一人の養育者でもあります。



## 家庭に代わる子どもたちの家

児童養護施設は全国に約600施設あり、概ね2～18歳の子どもたち約3万人が暮らしています。児童養護施設では、様々な専門職がチームとなって子どもたちの生活をサポートし、安心して家庭へ帰ったり、夢と希望をもって社会へ巣立っていくことを支えています。私たちの仕事は、子どもたちと共に、その未来を作り上げていく営みなのです。



## 児童養護施設で働く主な専門職

### 保育士

児童指導員とともに、保護者に代わって子ども達の養育を中心となって担う、養育の専門職です。子どもたちにとって最も身近な存在で、父や母、兄や姉のような存在として、子どもたちに寄り添い、生活を支援します。

### 児童指導員

保育士とともに、保護者に代わって子ども達の養育を中心となって担う、養育の専門職です。最も近い立場から子どもたちの日常生活をサポートし、保育士と協力して子どもたちの最善の利益の実現をはかります。

### 家庭支援専門相談員

ファミリーソーシャルワーカーとも呼ばれ、保護者などへの支援を通じて、子どもの家庭復帰等を支援します。また、施設を退所した子どもたちの相談援助や、地域の関係機関との連絡・調整、地域の子育て家庭の相談援助等も行います。

家庭支援専門相談員になるには、①児童養護施設等で5年以上の勤務経験がある、②社会福祉士等の資格を有する、などの必要があります。

### 心理療法担当職員

虐待等を受けた子どもたちに、遊戯療法やカウンセリングなどの心理療法を実施して、心理的困難の改善や、安心感・安全感の再形成、人間関係の修正等の支援を行います。また、心理面から他の職員へ助言したりします。

心理療法担当職員になるには、大学で心理学を専修等して卒業し、心理療法の技術を有する者として認められる必要があります。

### 里親支援専門相談員

里親支援ソーシャルワーカーとも呼ばれ、児童相談所の職員や地域の里親会等と連携して、里親の開拓や里親に対する研修、里親家庭の相談対応など、里親を支援し施設と里親をつなぐ役割を果たします。

### 栄養士

個々の子どもたちの身体の状況や栄養状態等に応じて、おいしく栄養バランスのとれた献立や食事を提供し、調理員や保育士・児童指導員と連携して、子どもたちの健やかな成長を支援します。

児童養護施設では、この他にも様々な専門職がチームとなって、子どもたちの生活を支援しています。



# 保育士

児童指導員とともに、子どもたちの養育を中心となって担うのが保育士です。いつも笑顔の絶えない玉井さんは、子どもたちの優しいお姉さんです。

玉井 里奈さん  
2014年入職(2年目)

短大で保育を学び、在学中は児童養護施設で宿直のアルバイトを行う。保育士資格を取得し、卒業後から現職勤務。

## interview

### 保育士になろうと思ったきっかけ

学生時代に、施設で実習や宿直アルバイトを経験しましたが、子どもたちのたくさんの笑顔や、職員さんたちの厳しくも温かい言動に触れるなかで、「専門職として自分もこの仕事をやってみたい」と思うようになりました。

### この仕事のやりがい

子どもたちのなかには、大人や社会に不信感をもつ子もいます。一緒に生活し同じ時間を過ごしていくなかで、子どもたちが悩みを打ち明けてくれた時など、信頼関係ができてきたのかなと感じる時は、とてもうれしく、この仕事をやってよかったと感じます。

### この仕事の大変なところ

子どもたちに「試される」ときは、なかなか大変です。たくさん大変な経験から、大人を信じられない子どもは、心にもない言葉やストレスをぶつけて、本当に自分を受け入れてくれるのか、大人を試すのです。でもこれを乗り越えたところに、信頼関係が生まれるのだと思います。

### Q 保育士になるためにはどうすればいいの？

A 次のいずれかにより、保育士資格の取得が可能です。

- ① 大学、短期大学、または専修学校等の「保育士養成施設」で、保育に関連する所定の課程・科目を履修し卒業する。
- ② 保育士試験に合格する。(受験資格は、大学、短期大学、専門学校の専門課程(2年以上)を卒業(または卒業見込み)する等)

# 玉井さんのある一日

## 7:00 朝食

部活動等で早く食べる中高生もいますが、多くの子どもたちは一緒に食事をします。



## 10:00 買い物・事務作業

子どもたちに必要なものを買に行ったり、部屋の片づけなどをします。



## 6:00 出勤

記録を見て子どもたちの様子を把握します。また、子どもたちの起床を促します。

## 9:00 休憩



## 14:00 打合せ・引継ぎ

昼寝中の子どもを見守りながら記録を記入し、午後から勤務する職員に引継ぎます。



6:00

7:00

8:00

9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

## 7:30 登校

「いってきます!」の元気な声とともに、小学生、中学生が登校します。

## 12:00 昼食

栄養士が子どもの成長や季節に合わせて献立を考えます。食べ残しが気になった場合は、栄養士と相談して献立を見直します。

## 8:30 幼稚園生 登園

幼稚園生の登園準備をし、幼稚園まで送ります。



## 13:00 昼寝

部屋を暗くし安心感をあたえながら、小さな子どもたちを寝つかせます。



## 家庭支援 専門相談員

大学で社会福祉学を学び、社会福祉士の資格も持っている齋藤さん。使命感が強く、家族の方からも厚い信頼を寄せられています。地域にも顔が広く、ファミリーソーシャルワーカーとして、施設と地域の橋渡し役を担っています。



齋藤 新一さん  
2004年入職(12年目)

## 家庭支援専門相談員に なろうと思ったきっかけ

大学在学中、児童虐待防止法が制定される等、児童虐待への社会的関心が高まっていました。そうしたなか、困難な状況にある子どもたちや、その家族を支援したいという思いから、児童養護施設で働くことを選びました。これまでに、様々な事情を抱えながら生活する保護者・家族の姿をみてきました。施設入所中から退所後までを見通して、子どもたちとその家族を支援するのが、私の仕事です。施設内はもちろん、地域の様々な機関・支援者と連携・調整するなど、大きなチームの窓口役を担う今の仕事には、とてもやりがいを感じています。



# 児童指導員

保育士とともに、子どもたちの養育を中心となって担うのが児童指導員です。皆から慕われる瀧さんは子どもたちにとっていつでも頼れるお兄さんです。

## 瀧 歩さん

2011年入職(5年目)

4年制大学の社会福祉系学科に進み、児童福祉を中心に社会福祉全般を学ぶ。子どもに関わる仕事への思いから現職に就く。



## interview

### 児童指導員になろうと思ったきっかけ

子どもが好きで、人と関わる仕事をしたいと思ったのがきっかけです。大学時代に保育だけが子どもの仕事ではないと知り、この道を選びました。私は小学校から野球を続けてきましたが、施設の子も達にも、続けることの大切さを伝えたいと思っています。

### この仕事のやりがい

一つ一つの発言や行動から、子どもたちの成長を感じることができた時、大きな喜びとともに、仕事のやりがいを感じます。楽しいことも辛いことも、一緒に経験するなかで信頼関係が生まれ、子どもたちと共に達成感を味わうことができるのも、この仕事の魅力です。

### この仕事の大変なところ

子どもたち一人ひとりが、多様で複雑な問題を抱えており、その中で信頼関係を築き上げるのは一朝一夕にはいかず大変です。また、子どもを第一に考え、その生活に合わせた勤務となるため、不規則なローテーション勤務となることもあり、子どもたちに負けない体力も必要です。



## Q 児童指導員になるためにはどうすればいいの？

A ① 社会福祉士、精神保健福祉士の資格を有する。

② 大学または大学院で、社会福祉学、心理学、教育学、または社会学を履修して卒業する。

③ 小・中学校、高校等の教員免許を取得したうえで、都道府県知事に適当と認められる。

これらのほかにも、児童福祉事業経験者が児童指導員になるルート等があります。



# ☀ 瀧さんのある一日

## 13:30 出勤

今日のスケジュール確認と、昨日の様子や午前からの引継ぎ事項を午前中からの職員と確認します。

## 18:00 夕食

今日学校でこんなことがあって、あんなことがあってと、子どもたちの話が飛び交い、賑やかな夕食です。



## 14:00 ケースカンファレンス

児童相談所の児童福祉司と、子どもたちのケースカンファレンスをします。

## 17:00 お風呂

お風呂でも話がはずみます。

## 20:00 幼児就寝

絵本を一緒に読みながら、いつの間にか眠っています。小学生は20時半頃に就寝します。



13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

22:00

## 15:00 小学生帰宅

ホームが一気に賑やかになります。



## 15:30 宿題

宿題や勉強の時間です。一人ひとりの学習の理解度に気を配ります。終わったら、子どもたちと庭でおもいごり遊びます。



## 19:00 団らんの時間

みんなでテレビを見たりゲームをしたり、それぞれ思い思いの時間を過ごします。



## 21:00 引き継ぎ

中学生の学習指導や、一日の日誌と子どもの記録を書きます。宿直職員への引継ぎを行います。



## 心理療法 担当職員

子どもたちのどんな話にも耳を傾けてくれる江川さん。子どもたちにとって、江川さんはなんでも話せる身近な存在です。言葉にできない子どもたちの心の中の思いを、専門職の立場から優しく温かく支援しています。



江川 亜希子さん  
2000年入職(16年目)

## 心理療法担当職員に なろうと思ったきっかけ

大学では建築を学びましたが、ボランティアの経験から、心理系の大学院に進学しました。大学院時代に非常勤職員の募集に応募したことが、今の施設との出会いです。最初から今の仕事を希望していたわけではありませんが、子どもの発達・成長を支援する仕事には関心がありました。

この仕事をしていると、子どもたちが自分自身の成長に気づく、それが分かる瞬間が時々あります。また、私が関わった子が、施設退所後も幸せに暮らしていると聞くことがあります。こんな時、この仕事をしていて本当によかったと感じます。

